

関平だより

平成20年10月号



発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日 第1及び第3火曜日

霧島の歳時記

暑い夏を乗り切って、やっとやってきた快適な季節。あなたは秋をどうやって楽しんでいきますか？涼しい風、高くそびえる山。過ごしやすい秋はインスピレーションも冴え、行動力もアップする季節。そんな秋だからこそ歴史と大自然の「霧島」に出かけて自然のパワーをいっぱい吸い込んで更にパワーアップして秋を楽しみたいですね。霧島へのドライブと一緒に何か他のことも楽しみたいというあなたにオススメなのが、木々の隙間から滝や湖を見ながら、また雄大な霧島の景色を我が物にできる「霧島連山トレッキング」が毎月開催されております。10月12日は「猿田彦巡行祭コース」の予定になっております。日本最初の国立公園である「国立公園霧島」で、神々と一緒に大自然の美しさを心ゆくまで堪能されてみてはいかがでしょうか？



登山風景

『霧島連山トレッキング』申し込み・問合せ先：国立公園霧島観光協会

TEL : 0995-57-1588

ニュース

総合専門サイト毎日コミュニケーションズ『マイコミジャーナル』で飲む温泉特集に掲載！！

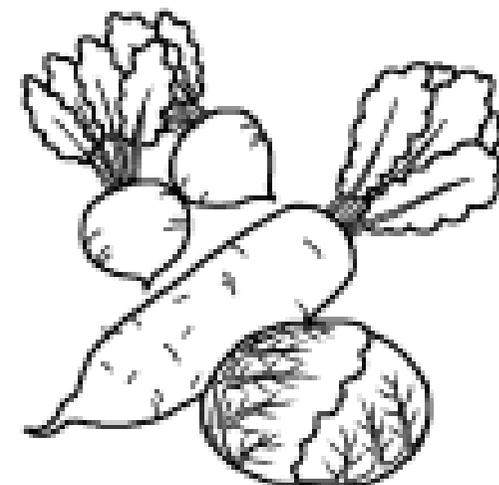
旅行ライターの中村洋子さんが、ヨーロッパの飲泉文化とはまた違う、日本の飲用泉のすばらしさにスポットをあてたいという思いで取材をされた「入ってよし、飲んでよし」の温泉に関平温泉が選ばれ、ニュースと読みものを中心とする総合専門サイト「マイコミジャーナル」に掲載されました。

<http://journal.mycom.co.jp/special/2008/onsen/index.html>



食の安全性について

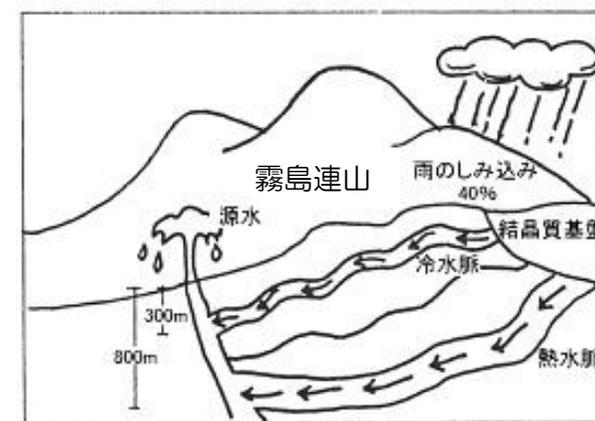
最近、食品問題が世間を騒がせています。中国冷凍ギョウザ事件の原因については、現在も調査中とのこと。そんな中、ミルクにメラミンという有害物質が混入され、それを飲んだ乳児が死亡するなど大問題になっています。本当に心配です。私自身も中国産の商品は・・・しかし、もちろん国産の食品だからといって必ずしも安全というわけではありません。農水省の汚染米の問題や、国内の食品メーカーでも、中国のメラミンの混入したミルクで製造された商品を自主回収するといったニュースは皆さんご存知ですよね。何を信用すればいいのかさえも分からなくなりそうなこの現状を、皆さんはどのようにお考えですか？



関平鉱泉について

食品の安全性が社会問題になっていますが、「私はもう何年も関平鉱泉水を飲み続けているが、品質は大丈夫だろうか？」と思っておられる方もいらっしゃるのでは？

関平鉱泉水についてご説明します。右図が関平鉱泉水の湧出するしくみを示したものです。霧島国立公園の霧島連山に降った雨水が長い年月（50年～100年かかるとも言われております）を経て地中深くまで浸み込み、熱水脈を通り多種多量のミネラルを含んで、大自然に囲まれた霧島山の麓から湧き出しています。まさに関平鉱泉水は大自然の恵み、「自然」「天然」という言葉がぴったりです。だから「おいしくて安全」と自信を持ってお勧めできるのです。



また、製品製造におきましても、製品の成分検査、細菌検査を厳重に行って衛生的な環境で製造しておりますので、安心してお召し上がりください。

お客様の声

【ご意見】 20Lボックスから 500ml ボトルに移して冷凍して、冷えた関平鉱泉水を飲もうとしたらペットボトルの底に白い浮遊物がたくさん沈んでいるが、飲んで良いのでしょうか？

【お答え】 おそらく関平鉱泉水を冷凍することで水のミネラル分が結晶になり、ペットボトルの底に沈殿した可能性が考えられることから、ご質問をいただいてすぐに、関平鉱泉水と水道水の2種類をテストしました。結果は水道水を凍らせた方は、全く沈殿物は生じてなかったのに、関平鉱泉水は白い沈殿物が沈んでいました。白い沈殿物は鉱泉水の成分で飲んで害はございませんが、凍らせて使用するのは避けてください。

今回のテストにより水道水と比べて関平鉱泉水にはミネラルが多く含まれているということが再確認できました。貴重なご意見ありがとうございました。

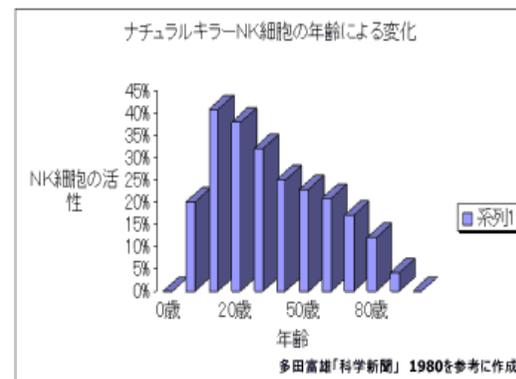


健康知識その9

前号では「がんに対する免疫力の力」ということで、体の中の異常細胞を攻撃する免疫担当細胞について掲載しましたが、今回は自然免疫細胞の「NK細胞」にスポットをあててみました。

1. NK細胞は年齢とともに減退する

NK細胞とは、がん細胞を殺せるキラーリンパ球の一種で、誰でも体内に自然に備わっている細胞です。健康人ならば、血中のリンパ球群のうち15%前後を占めております。血中のNK数が低下すると、がんにかかりやすいことがわかっております。NK数は10代後半をピークに加齢とともに減少していきます。また、NK細胞の活性(破壊能力)も加齢とともに低下していきます。しかしNK細胞に栄養を与えることで活性があがるともいわれております。



7月号では、がんリスクを減らす食材ということで、野菜、果物、ビタミンC、繊維などを紹介しましたが、日頃の食生活にも気をつけるように心掛けたいものですね。

2. NK細胞活性が弱い人がウイルス感染すると重症化する理由

ウイルス感染後、最初に身体を守るのがNK細胞です。また、NK細胞は単独でウイルスに立ち向かいます。ウイルス感染で重症化を招く重要なポイントとなるのが、ウイルスと闘うNK細胞の活性の強さにあります。NK細胞の活性が、ウ



イルス増殖の進行と病気の重症化を決定するのです。免疫力が強い人はNK細胞の活性が高く、早期にウイルスを退治してしまいます。しかし、免疫力が弱い人やお年寄りやお子様はNK細胞の活動が弱く、ウイルスが増殖し重症化する原因となるのです。このように全てウイルス感染による重症化は、NK細胞の活性化にかかっていることがお分かりかと思えます。一般に風邪やインフルエンザにはかからないという人がいますが、正確にはウイルスに感染をしても、自覚症状がないまま、NK細胞がウイルスを退治していて、熱や咳を発症しないだけなのです。

本当に、「NK細胞」は、たのもしい味方ですよ！！

編集者のひとりごと

今月号でも取り上げましたが、食品に関する事件が毎日のようにニュースで報道されております。今までは店頭に並んでいる商品が安全かどうか、ほとんど気にしていませんでしたが、こんなに次々と食品の事件が起きると「この商品は安全だろうか？」とやはり不安になります。最近、トレーサビリティという言葉が耳にすることが多くなりました。これは、生産から販売まで全工程の過程を明確にさせ、消費者がいつでもその履歴を追跡できるようなシステムですが、消費者の立場からすると商品を選択するうえで良いことだと思います。

また最近、団塊世代を中心に自分で野菜を栽培している方が増えているそうですが、やはり安心して食べられる物を求めているからなのでしょう？